

## 長野県消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会（県大会）の開催方法と新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルに応じた中止の判断基準について

- 県大会は、新型コロナウイルス感染防止対策とともに、大幅な大会運営方法の見直し、参加者の縮減を行い実施する。但し、県内で長野県が定めた新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベルが5以上の圏域がある場合は中止する。
- 中止を判断する期日は、6月10日（金）とする。これにより難しい場合は、正副会長が協議の上決定する。

### 1 令和4年度県大会開催方法

令和4年度県大会は、参加者の新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期して、操法・吹奏競技を主体として、式典色をなくし参加者を縮減して行う。

#### (1) 大会運営方法

##### ア 競技チームの時間差による入退場

- ・ 競技チームは、種目に関わらず地区協会ごとの同一時間に入場し、競技、撤収後退場する。
- ・ 競技前に入場・待機時間、競技後に撤収・退場時間を設け、1地区協会が会場に滞在する時間を2時間以内として、密集することを極力回避する。
- ・ 競技は概ね午前中に終了とし、選手及び選手関係者の弁当は不要とする。

##### イ 開・閉会式

- ・ 開催せず、運営要員を対象に開始式、終了式を短時間で行う。

##### ウ 表彰式

- ・ 開催せず、結果は県消防協会ホームページに掲載する。
- ・ 表彰式は後日、県協会行事に合わせて行う。

##### エ 来賓の招待

- ・ ご招待しない。

- 詳細な進行、時間割等はこの方法に基づき「大会実施要綱」に規定する。

#### (2) 参加者の縮減

- 以下により、参集者を前回（R元年飯田市 約2,300人）に比べ、約1,000人減らす。（時間差で参集した延べ数のため、見掛けの参加者はさらに半減する。）

##### ア 選手関係者の縮減

選手以外で競技に関わる者（運転、器具等の運搬、記録係等）は、1チームにつき必要最小限（10名程度）とする。個別の事情によりこれにより難しい場合は、正副会長で協議のうえ判断する。

##### イ 運営要員の縮減

当番協会である松本消防協会の運営要員は、前回269人から半減させる。

##### ウ 無観客

応援、観戦のみの目的での来場は遠慮いただく。

### (3) 感染防止対策の徹底

- ・選手及び選手関係者は大会一週間前から特に健康管理に留意し、当日発熱又は風邪等の症状がある場合には参加しない。
- ・マスクを正しく着用する。(不織布マスク推奨。競技者も競技時間を除き着用)
- ・適切なタイミングで手洗い・手指消毒を行う。
- ・密接、密集、密閉場面を極力避け、号令・危険防止場面を除いて大声を出さない。
- ・審査会等、室内の作業時は換気を徹底する。
- ・選手及び選手関係者は、会場で食事をしない。
- ・県協会は大会中県新型コロナウイルス感染症対策室が定める「イベント開催時のチェックリスト」により感染防止に係るチェックを行い公表する。

## 2 感染警戒レベルに応じた中止の判断基準について

### (1) 感染警戒レベルについて

令和4年度県大会は、県内で長野県が定めた新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベルが、5以上の圏域がある場合は中止する。

### (2) 中止を決定する期日

- ・6月10日(金)とする。一度中止と判断した場合は、これ以降は再判断しない。
- ・上記により難しい場合は、正副会長が協議の上決定する。その場合は、協議内容を公表する。

### (3) 中止判断基準の公表

県大会の中止に係るこの基準は、地区消防協会幹事を通じて県消防協会役員に周知するほか、長野県消防協会ホームページで公表する。

### (4) 従前の開催可否基準

開催可否に係る基準である「参加する過半数のチームに出動命令」、「開催地消防団に出動命令」、「県災害対策本部の設置」については従前どおりとする。

## 3 地区消防協会の県大会への参加等

- ・県大会への参加は、各消防団及び地区協会の判断とする。
- ・市町村大会及び地区大会の開催可否は、各消防団及び地区協会の判断とする。

## 4 地域防災力の維持向上のための訓練について

地域防災力の維持向上のため、県大会の中止に関わらず消防団の必要な訓練、機械器具の点検、講習等の活動は、消防団長の判断及び団のガイドライン等により実施可能とされる場合は、感染防止対策を徹底した上で実施していただきたい。